

今後の課題は、①学校施設を十分に使えるようにすること ②新あいキッズを導入することによって児童館で小学生を受け入れないなどということがないようにすること ③人員配置の1名減で安心・安全な活動が危ぶまれないようにすること ④土曜日のあいキッズ実施をどうするかの議論 ⑤要支援児の受け入れ体制は大丈夫かの議論。

現行あいキッズ

一般登録	学童登録
17:00まで	18:00まで
無料	有料4800円
おやつなし	おやつあり
小1～6	小1～3
教育委員会所管	子ども家庭部所管

新あいキッズ

甲時間	乙時間
17:00まで	A18:00またはB19:00まで
無料	A2700円 B3900円
おやつなし	おやつあり
小1～6	小1～3
教育委員会所管	教育委員会所管

今後の予定

1月 5日	賀詞交歓会	2月26日	議会改革調査特別委員会
8日	議会基本条例講演 〃 作業部会	28日	補正予算総括質問
12日	成田山初詣	3月 1日	日大鶴ヶ丘高校卒業式
13日	成人式	2日	おなだか 勝 区政報告会
19日	消防団始め式	4日	本会議 区長施政方針
20日	土地開発公社審議会	10日	企画総務分科会
21日	企画総務委員会	17日	予算総括質問(1)
22日	企画総務委員会	18日	予算総括質問(2)
30日	平成26年度予算 プレス発表 議会改革調査特別委員会	19日	板橋二中卒業式
2月 4日	会派予算説明会	20日	予算総括質問(3) おなだかが質問
10日	議案説明会	3月22日	大山小 卒業式・閉校式・同窓会
17日	本会議	25日	小学校卒業式
19日	企画総務分科会	26日	本会議

おなだか 勝 区政報告会のご案内

恒例の区政報告会を行いますので、お誘いあわせの上、ご参加ください。

- ◇日 時 3月2日(日)午後6時30分開会
- ◇場 所 板橋区立文化会館4階大会議室
- ◇参加費 3,000円
- ◇申込み 下記、事務所FAXまたはメールアドレスにお名前・連絡先をご記入いただき、お申し込み下さい。

板橋区議会議員
おなだか 勝 プロフィール

- ・昭和35年6月6日生 53歳
- ・板橋区立大山小学校、板橋二中、都立小石川高校を経て、昭和59年東京学芸大学教育学部卒業
- ・平成7年板橋区議会議員選挙に初当選。現在まで5期連続当選。
- ・民主党議員団幹事長、監査委員、文教児童委員長などを歴任。現在は議会改革調査特別委員長。
- ・民主党東京都区市町村議員団 政務調査会長
- ・平成18～21年度 板橋二中PTA会長、中学校PTA連合会副会長
- ・平成24年度 日大鶴ヶ丘高校桜園会会長
- ・大山青少年剣友会副会長

区政に対する、ご要望・ご提案・ご質問をお寄せください。真摯にお応えいたします!

板橋区議会議員

〒173-0034 板橋区幸町51-9 <http://onamasa.com/>
電話:03-3554-0965 FAX:03-5966-9595
メールアドレス:onamasa.10.10@jcom.home.ne.jp

おなだか 勝 事務所

板橋区議会議員



おなだか 勝 区政レポート

平成26年 初春号

おなだか 勝 事務所 | 〒173-0034 板橋区幸町51-9 TEL 03-3554-0965 FAX 03-5966-9595 e-mail onamasa.10.10@jcom.home.ne.jp

9月25日の一般質問のその後について報告いたします!

1 老人クラブについて

実際に活動している人数から、登録者人数を大幅に水増しをした某老人クラブに対して、生きがい推進課や監査委員もきちんと過去に渡って調査をして、不正な補助金を受け取っていたとしたら、返還請求すべきと質問いたしました。

〈12月3日の健康福祉委員会での調査結果報告〉

- ①全142クラブに対しての会員名簿の再点検を実施
→4件で修正の申し出があり、名簿の訂正をした。
- ②無作為抽出で12クラブに対する会計処理等の実地調査実施
→12クラブに対し、預金通帳・金銭出納帳・会費徴収簿・領収書等の支出証拠書類の点検等を行ったが特に指摘すべき点はなかった。
- ③当該団体の会員名簿登録者に対する加入確認調査実施
→名簿登録されていたのべ1034名に対して、郵送照会・電話・訪問等による本人または家族からの聞き取り調査並びに住民登録に関する調査を行った。
その結果、本人または家族から会員でないと申し出のあった者、死亡・転出済みの者、重複登録の者、のべ631件を返還すべき対象者とし、下記額を返還請求した。



該当年度	(件数 × 年間助成額)
平成19年	98 件×@1,500円/年間= 147,000円
平成20年	106 件×@1,500円/年間= 159,000円
平成21年	101 件×@1,500円/年間= 151,500円
平成22年	106 件×@1,500円/年間= 159,000円
平成23年	109 件×@1,500円/年間= 163,500円
平成24年	111 件×@1,500円/年間= 166,500円
合計	631 件×@1,500円/年間= 946,500円

6年間の合計
631件 × @1,500円/年間 = 946,500円

2 川越街道と補助26号の大山交番交差点

12月1日より、右折信号が付きまして。長い間、危険な交差点と指摘され、改善要望をして参りましたが、ようやく右折矢印が付きまして!!



11月29日の一般質問の内容を報告します

1 大山のまちづくりについて

補助26号線の工事は平成32年の東京オリンピックの年の完成に向けて、現況測量が開始されることとなりました。補助26号線は、昭和21年に都市計画道路として決定されてから、様々な賛否両論渦巻く中で、すでに67年が経過しましたが、大山西町地区の26号線の完成で、そしてこの度の現況測量説明会の開催で早急なまちづくり計画が必要となっています。

平成19年度から、大山まちづくり委員会が立ち上がり、議論を重ねてきていますが、大山地域の皆さんのまちづくり計画に対しては、板橋区はしっかりと協力し、地元の活動を支援していただけたということです。

そこでいくつか質問いたしました。

Q1 大山のまちづくりの第1弾となる予定の総面積5089㎡のピッコロスクエアの再開発。都有地が45.9%、区有地は37.5%、その他が16.6%。都有地部分については、再開発をスムーズに進めるためには板橋区が買い上げるべきだと思うが、どうか？

再開発における選択肢の一つとして検討を進めていきたい。

Q2 補助26号線と東上線との交差は、地下化か高架化のどちらかになるが、地下化・高架化の技術的な問題点と金銭的な問題に分けて、現状の板橋区の見解はどうか？

鉄道の構造形式については事業主体の東京都が決定するが、地下化の場合、高架化に比べて事業費が高額となり、区の財政負担が増加する。



2 大山小学校の跡地と周辺地域の問題について

大山小学校は残念ながら、本年3月に閉校となります。

大山小学校は、およそ半分が借地ですが、隣の板橋二中についても、同様の土地所有者に借りています。

板橋区は、板橋二中の借地部分と、大山小の板橋区所有の部分との交換による、板橋二中の敷地の完全区有化を目指しましたが、土地所有者の意向で交換の話はなくなりました。では、大山小学校の跡地はどうなるのかについて質問いたしました。



Q3 土地所有者と板橋区の区分所有であろうが、どちらか一方がすべてを取得しようが、一体化での跡地利用を提案する。

若葉小跡地のように、社会福祉法人等に長期に貸し出して、賃料を徴収し、特別養護老人ホームを中心とした社会福祉施設の誘致を提案する。

デイサービスやショートステイの併設、都営西町団地の老朽化に伴う、大山西町保育園の移設、さらにリハビリ用のプレイルームなどの空間や大きな中庭を災害時には地域の避難所として開放する契約を盛り込むのはどうか？

一体的に活用するほうが区や土地所有者にとっても、地域のまちづくりにとってもメリットがあると考えて、その方針で土地所有者と協議中。

大山小学校に隣接する交通公園は普通公園へのリニューアルが検討されています。広々とした空間と小さなお子さんからお年寄りまで、すべての区民がゆったりとんびりできる、公園整備にしていきたいと思っております。



Q4 公園の管理棟は老朽化が甚だしく、耐震上も問題であるので、解体・改築をすることになるが、新しい管理棟には、避難所機能を有する地域開放スペースや図書室、災害時用の備蓄物資も備えていただきたいが、どうか？

改修後の新しい公園のあり方、関係法や条例の規定、大山小学校の跡地の動向を踏まえて慎重に検討する。

3 コミュニティバスの運行について

平成21年から始まったりん号の実験運行が、26年3月までとなりますが、約4年で1億円も財政負担をしている割には、未だに1日の乗客数は200人を超えた程度となっています。杉並区のすぎ丸というコミバスでは、1日で1686人という路線もあります。



Q5 いつ撤退または続行または拡大の結論を発表するのか。また、今年度行われている評価委員会の途中経過は？

本格運行に移行する場合は現行ルートで。ルートの新設の場合は導入の可能性について今年度中に検討。

Q6 有楽町線小竹向原駅から日大病院、東上線中板橋駅、豊島病院を経て板橋区役所。そして健康長寿医療センターから、東上線大山駅、東上線沿いに下りてまた日大病院を経て小竹向原駅に戻るルートを新設していただきたいがどうか？

道路幅員が狭いなどの問題があるがより小型の車両も視野に入れた調査や事業収支と財政負担などの検討をする。

その他に、
 ・公共施設での喫煙場所の確保について
 ・ながら携帯電話の禁止条例の制定について
 ・武道の必修化の成果について
 ・武道場の積極的地域開放を
 ・土曜授業の行方について
 ・榛名学園と八ヶ岳荘の将来的な改築について
 などについて質問いたしました。



新しいキッズ条例可決を巡る動きについて報告します！

8月23日の閉会中の文教児童委員会において、あいキッズの見直しについての最初の報告があつて以来、新しいキッズの方針が出て、議論を重ねてきた結果、12月16日の最終本会議において、7人の討論を経て、賛成30名、反対13名で新しいキッズ条例は成立しました。

現行あいキッズでは、一般登録と学童クラブ登録は、次のページのように、所管の違いからも全くの別扱いとなっており、同じ学校の児童であっても障壁が感じられていました。新しいキッズでは、すべてが教育委員会の所管となっていますので、夕方までは全児童が学校施設で遊んだり、静かに読書をしたりと一体感が感じられます。17時以降に残る児童が時間帯によって料金が異なるシステムとなっています。